ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイランド

事業内容： トラック・バス用タイヤ、小型トラック用タイヤ、乗用車用タイヤの生産・販売
敷地面積： 418,029m² (工場)、1,690,000m² (テストコース)
従業員数： 1,967人 (2013年12月末現在)
所 在 地： 7/216 Moo.6, Amata City Industrial Estate, Tambol Map Yang Porn, Amphur Pluakdang, Rayong Province 21140, Thailand
TEL：+66(38)650-350～63

相談・苦情などの受付窓口：
Human Resources and Administration Dept.
TEL：+66(38)650-350~63　FAX：+66(38)650-319

社長ご挨拶

鶴野　孝一

当社は横浜ゴムの中期経営計画（GD100）において、海外における総合タイヤ（TBS、PC/LT）の生産拠点にすべく2004年からタイ国において事業をスタートし、2014年に10周年を迎えました。
2009年には横浜ゴムのタイヤ開発、試験能力を飛躍的に強化・拡大するために、工場から30kmの所にタイヤプルービンググランド･TIRE TEST CENTER OF ASIA（TTCA）を設置。2013年にはWET・DRYハンドリングコースを拡張したことで、タイヤ評価のほぼすべてがこの地で完結できる体制となりました。
“アジアのデトロイト”と言われているタイ国では、モータリゼーションが凄まじい勢いとスピードで発展しており、自動車の重要部材の1つであるタイヤについて、その要求性能の満足と品質における信頼性がますます重要になってきています。
原料調達から環境に貢献する素材を使いそれらの特性を生かして、必要最小限のエネルギーを使いタイヤを生産することを第1目標に置いて、商品開発・上市・生産拡大を図っています。
当社は、2012年から、タイ国工業省が主催している「タイ政府社会的責任推進プロジェクト　CSR-DIW」に参加し、Beginners Awardを受賞。ISO26000の7つの中核課題に沿った活動を一歩ずつ進めています。
またYOKOHAMA千年の杜プロジェクトとして、2013年には第六回植樹会で7, 900本の苗木を植えました。植樹の累計本数は45,000本となり、今後もさらに大きく増やしていく計画です。植樹に使う苗は、当地のどんぐりから芽生えさせたものを使う宮脇方式の杜づくりに準じており、この方式を他社や地域の学校にも広めてサポート活動もしています。
私たちは地域に愛され信頼される企業でありたいと考え、「タイ国で仕事をさせていただいている」ことを常に心に留め、事業活動を行ってまいります。

組織統治

各種法令順守含め法令基礎について､スタッフ･アシスタントマネージャー以上への教育を、2011年よりスタート、継続・拡大しています。
また、従業員と家族の健康と生活の質を改善するため、2010年から従業員に対して定期的に薬物検査を実施。2013年度は延べ1,994人（96%）の検査を行い、60人（3%）が陽性でした。陽性反応が出た従業員には病院で薬物依存をなくすプログラムを実施し、拡大防止に努めています。タイでは薬物の根絶が非常に困難な状況がありますが、政府が行っている「白い工場プロジェクト（White Factory Project)」とも連携し、3月21日にWhite Factory（Grade C）の認定を受けました。
今後も検査、対応、報告といったPDCAを回す活動を推し進めていきます。これらを通じ、コンプライアンス意識の向上を図っています。

白い工場PJ認定式

人権

人権教育

従業員が、等しく公平に働くことができ、権利を行使できる工場づくりを目指し、各種教育を実施しています。

障がい者雇用

障がいのある人が障がいのない人と同様に、その能力・適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指し、当社でも障がいのある人の雇用を推進しています。2008年にリーダー職として1人の方を採用、2013年には安全環境課・技術課などで計4人を採用しました。
彼らからは、「良い仲間を得ることができた」「通勤が便利」など、働くことに非常に満足しているとの話を頂いています。

職場で活躍する従業員

労働安全衛生（安全衛生方針、安全衛生への取り組み）

安全衛生方針

安全衛生基本理念

安全衛生はすべての基本であり
管理者と監督者の強力なリーダーシップと
全従業員の協力のもとに労働災害防止と快適な職場づくりを目指します。

基本方針

(1) 安全、健康で快適な設備、職場づくりを目指します。
(2) 管理者・監督者は不安全状態・行動を見逃すことなく部下の安全を守る責務を負います。
(3) 職場の一人ひとりは職場の決め事を確実に守り、安全に徹した作業を行います。
(4) 労働安全衛生法を始め関係する諸法令を遵守するとともに、社内規定・基準に基づき従業員の安全を確保します。
(5) “整理・整頓は安全衛生の基本である”との考えをもとに2Sを徹底します。
(6) 従業員の疲労やストレスを軽減するため、快適な職場環境の形成を促進します。
(7) 工場幹部による声掛け運動で良好なコミュニケーションをつくります。
(8) 安全衛生教育、諸活動を実施し、安全衛生意識の向上を図ると共に、協力会社へも安全衛生方針を表明し、協力を要請します。
(9) 労働安全衛生マネジメントシステム（OHS）により作業と設備にかかわる潜在的危険を排除し、継続的なリスク低減を図ります。

安全衛生につきましては、第一優先課題として取り組みを継続しています。労働安全衛生マネジメントシステムをベースに、公開作業観察活動・設備の本質安全活動等、人(人と仕組み)と設備、両面からの活動を展開しています。

OHSAS認証書

TIS認証書

公開作業観察活動（通称、デモンストレーション活動）

公開作業観察活動（通称、デモンストレーション活動）は、定常・非定常作業をみんなで観察しその中から、安全・品質等の問題点を見つけ改善していく活動です。
2013年度は8,934回のデモンストレーションを行い、1,600件に上る改善を実施しました。

デモンストレーション活動

労働法講習会

アシスタントマネージャー以上の全管理監督者を対象に、労働法に関する講習会を実施しています。
「何キロまでは運んでよいか」「就業時間は」など、法律に従った正しい知識を習得することで、現場管理が、より正確・公平になることを目的としています。

労働法講習会

福利厚生説明会

2012年より全従業員を対象として、福利厚生・会社規則や、それらにかかわる利点等についての説明会をスタートしました。
この説明会に参加した従業員からは、権利の理解が深まったとの評価を得ています。

福利厚生説明会

日頃の良い活動をみんなで共有し、啓発する活動

日頃のちょっとした良い活動を実践してくれている従業員がいます。そういった従業員たちのことを知り共有することで、職場や社会で良いことを一緒に行っていく人材を育てることを狙いとしています。

休憩場所を自然を感じられるよう作り直し、いつもきれいにしてくれている従業員

拾った財布を落とし主に届けてくれた従業員

環境

環境マネジメント

環境・エネルギー方針

(1) 環境・エネルギーマネジメントの持続的改善を実現するため、すべての活動分野において環境に配慮した施策に取り組みます。
- 環境・エネルギーマネジメントシステムをすべての部門・工程、あらゆる活動に展開します。
- 環境・エネルギープログラムを維持改善するため各部門の役割責任を明示します。

(2) すべての事業活動において環境負荷削減と資源の有効活用に取り組みます。

(3) トップレベルの環境貢献企業を目指し環境保全に取り組みます。
- 地球温暖化防止のため温室効果ガスの排出量削減と省資源を推進します。
- 限りある地球資源を守るため、廃棄物の排出量削減と3R(Reduction、Reuse、Recycling)に努めます。
- 関連する法規制および同意した協定等を遵守します。

(4) 地域社会とのコミュニケーションを深め、共生を目指します。
- 環境・エネルギーマネジメント活動の社内外における理解に努めます。
- 地域の皆さまからのご意見に対応します。

環境・省エネマネジメントを積極的に取得し、社内・工場の改善に取り入れています。

エネルギーマネジメントシステムISO 50001については、会社としてはタイ国で初めて2011年8月に取得しており、エネルギーパフォーマンスの改善が、認められております。
また、ISO26000に基づいた活動をスタートさせるなかで、タイ国工業省が主催している「タイ政府社会的責任推進プロジェクト　CSR-DIW」に参加し、Beginners Awardを受賞しました。7つの中核主題に沿った活動を一歩ずつ進めていきます。

ISO14001認証書

ISO50001認証書

環境

環境データ

項 目		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
廃棄物発生量(t)		1,794	2,206	2,059	1,948	2,002
埋立率(%)		0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー使用量(原油換算：kl)	電力	18,615	22,611	26,060	25,094	25,190
	燃料	6,684	7,946	9,456	9,596	9,507
	合計	25,299	30,556	35,515	34,690	34,697
温室効果ガス排出量(千t-CO_2)		53.7	64.9	75.3	73.5	73.5
水使用量(千m^3)		586	495	559	543	591

※年度：1月～12月
※2008年度より温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

環境課題への取り組み事例

リークゼロ活動

安全（止まらない設備）・省エネ活動の一環として、水・蒸気・油類・エアーの漏れなし活動（＝リークゼロ活動）を展開しています。
（初期清掃→エフ付け→マップ作成→改善→保守継続のサイクルを回す）

リークゼロ活動風景

化学物質の管理状況についての報告（PRTR法への対応）

危険物の取り扱いについては、物質ごとに、保管・取り扱い（非定常時も含め）等、要領に定められた内容で、運用・管理しています。
マネジメントシステムに基づき、定期的に確認される中で、事故等の発生もありません。

騒音、振動、臭気について

近隣住民の方からの臭気情報に対し、脱臭装置(スクラバー)の設置を進めてきました（2010年1機設置、2011年1機設置、2012年4機設置、計6機導入)。
併せて、スタッフや守衛による工場周辺の臭気観測、地域の皆さまへの説明会、地域のご協力による臭気モニター制度、臭気対策としての植樹など改善に取り組んでいます。

乗用車用タイヤ工場側脱臭装置（スクラバー）

トラックバス用タイヤ工場側脱臭装置（スクラバー）

地域との情報交流会

環境

アマタ地区生物多様性活動

「環境と共生」活動の一環として、Kao maikeaw地区の住民が安心して暮らせるように、地域の複数の企業や住民、NGOと共に洪水を防ぐダムを建設。2013年6月1日は12人（総数256人）、6月15日は65人（総数230人）の有志が、ボランティアに参加し、活動を盛り上げています。

公正な事業慣行

タイ国内のお取引様について訪問活動を2009年より開始。2012年は28社を訪問し、コミュニケーションを図りました。活動を通して対等で公平な協力関係を築き、お互いの理解と信頼性向上に努め、より一層の発展を目指します。

消費者課題

環境貢献商品 Blu Earthシリーズの生産を2011年より開始。2013年には、次期ECOS生産を開始するなど、環境貢献商品のさらなる生産比率拡大を進めていきます。
2012年には、タイヤプルービンググラウンド（TIRE TEST CENTER OF ASIA（T.T.C.A.））敷地内にタイヤサービス・トレーニングセンターを開設、タイヤ燃費向上教育など、社外販売店の方も含め、広くタイヤについてご理解を深めていただいています。
また、ころがり抵抗試験機2013年に導入するなど、環境貢献商品開発にも力を入れています。同時に原材料の地産地消を進めており、マイレージ（輸送ロス）低減・供給の安定を図っています。
これらの活動は、タイ洪水災害以降、活動を加速させています。

消費者とのコミュニケーション

安全啓発の一環として、タイヤ安全に関してのキャンペーンを関連会社などで実施。各社の安全週間などで、活動させていただいたところ、好評を頂きました。

タイヤ安全パネル

関連会社での安全キャンペーン（写真は11月Okamoto Logistic（Thailand）.,Ltd様での安全週間）

苦情などへの対応

皆さまから頂きました情報につきましては、要領に基づき、迅速に社内展開され、分析・対策等を立てて、お客さまへ、回答・対応させていただいています。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域社会とのかかわり

2013年度は、主な活動として63件の活動を行いました。

- 千年の杜活動をはじめ植樹指導等の環境対応活動　25件
- 地域イベントへの参加等の地域との関係強化活動　16件
- 寺院保全への協力等、文化保全活動　7件
- ボランティア・寄付等の、社会貢献活動　15件

以下に、2013年度の主な活動を紹介いたします。

苗床（どんぐりから育てています）

植樹会オープニング

Yokohama 千年の杜 プロジェクト／環境活動

宮脇方式での杜づくりを他社や地域の学校にも広め、サポートしています。各種植樹行事への参加も積極的に行っています。
2013年6-7月は、シフトごとに第6期植樹を実施しました。合計1,666人が参加し、1,304m²の土地に7,961本の苗木を植えました。今回の植樹では、2015年に地域の町役場などの移設計画のある場所の周辺に植樹を実施。植樹の体験指導として、町役場の方々や、近隣企業の方々にも参加いただきました。

千年の杜ロケーション

2013年10月 Pluakdeang officer 植樹会に参加

他社植樹会への参加(写真は2013年8月 AMATA CITY植樹会)

町役場の方々へ植樹説明

植樹風景

植樹風景

植樹風景

苗の寄付（2013年7月OBT Bowin様 2,000苗）

AMATA CITY MAGAZINE取材 2013年7月

地域との関係強化活動

2013年1月　近隣小学校合同のこどもの日行事に参加　各学校への寄付も実施（主な寄付をした小学校: Ban Khaohin school・Mab Yang Porn school・Mab tuey school等）

子供の日

子供の日

大学との交流・工場見学も実施

2013年2月 King Mongkut's University Ladkrabang

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

文化保全活動

2013年5月　近隣のお寺 (Huayprab Temple) へ寄付

寺院への寄付

2013年7月　近隣のお寺へ四旬節の寄付を実施(Saphansi temple・Mab yang porn temple・Huay prab temple・Prasittaram temple)

四旬節の寄付

社会貢献活動

2013年4月　Mab yang porn Subdistrict のソンクランイベントに参加・協力

ソンクランイベントでの寄付

2013年8月　Mabyangporn primary schoolへ食事の寄付提供

食事の寄付

2013年9月　ラヨーン県赤十字主催の献血に参加

献血風景